

第3学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 リズムにのって歌おう
 2 教材 「きょうりゅうとチャチャチャ」 平野祐香里 作詞 加賀清孝 作曲
 3 指導に当たっての考え方

教材分析	
<p>楽曲「きょうりゅうとチャチャチャ」は、きょうりゅうとの出会いの喜びを明るく軽快なテンポで表現した曲である。</p> <p>特徴的な要素は以下の通りである。</p> <p>リズム：休符や八分音符が多く、同音連打もあるために、はずんだ感じがする。途中、手拍子によるリズム打ちがをいれることでより楽しい感じを表現できる。</p> <p>前半は、シンコペーションのリズムがあり元気な感じで、後半は、付点二分音符もあり、伸びやかな感じがする。</p> <p>歌詞：前半はお話、後半はぼくのうれしい気持ちを表現している。後半に強い喜びが表れている。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>旋律：前半部分はきょうりゅうとの出会いの様子を順次進行が中心の旋律で、後半部分は出会いの喜びの様子を跳躍がある谷型の旋律で表している。</p> <p>以上のような教材であるので、楽しい様子が伝わる歌い方を工夫し、リズムにのって表現することができる。と考える。</p>

児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌を好み楽しみながら歌う児童が多いが、曲想に合わせて身体表現をしながら歌うことに抵抗を感じている子も多い。 ○ 楽曲のよさに気づくことができるようにはなってきたが、曲想からつかんだ自分の思いを表現へつないでいくことはまだ十分ではない。 ○ きれいな声で歌いたいという思いは持っているが、発声の仕方等に気をつけて歌う力はまだ十分ではない。また、リズムにのって歌うことを苦手としている児童もいる。

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p>曲想や楽曲の特徴を聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パネルシアターを使った範唱CDの聴き取り ○ 教師によるリズムうちの聴き比べ ○ 教師による範唱の聴き比べ ○ 縦書き歌詞，拡大楽譜の提示 	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px;">つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はずむような感じがするね。 ・リズムにのって踊りたくなるね。 ・手拍子が入ると楽しいね。 	<p>曲想を感じ取って楽曲への思いを持ち、正しく歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リズムにのって正しく歌うこと ○ 拍の流れを感じ取ること
<p>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リズム打ちの表現の工夫の聴き取り ○ 友達の表現方法の聴き比べ・聴き比べ 	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px;">深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんなリズムに合わせてみても楽しいな。 ・このリズムも合いそうだな。 	<p>曲想に合うリズムを感じ取り、自分の好きなリズムにのって歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲に合ういろいろなリズムを取り入れて歌うこと ○ 自分の表現したいリズムをみつけて歌うこと
<p>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現のよさの聴き合い ○ 学習のまとめとしての聴き合い 	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px;">味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを入れる場所を増やしたらもっと楽しくなったよ。 ・楽器でリズムうちをしても楽しいね。 	<p>自分の思いを表現し、歌い深める味わうこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の表現を聴き、よさを見つけること ○ 自分の表現をさらに工夫し深めること

題材目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想に合う表現をしようと、歌ったり聴いたりリズムを取り入れたりして進んで表現しようとしている。 (関心・意欲・態度) ○ 楽曲全体の曲想を感じ取り、旋律やリズム、歌詞の内容を生かした歌い方を工夫することができる。 (感受・表現の工夫) ○ 明るく楽しい曲想にあうように呼吸の仕方や発声、発音に気をつけて無理のない自然な声でリズムにのって歌うことができる。 (表現の技能)

4 指導計画(3時間)

	つかむ①本時	深める①本時	深める・味わう①
ねらい	曲想を感じ取って楽曲への思いをもち、正しく歌うことができる。	チャチャチャのリズムを感じ取り、曲想にあった歌い方を工夫し歌うことができる。	自分の思いを表現し、歌い深めることができる。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想をつかむこと ○ 呼吸や発音の仕方に気をつけて正しく歌うこと ○ 表現への具体的な思いをもつこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いにそった表現ができるように、リズムや歌い方などを工夫すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聴き合ったり歌い合ったりして、よりよい表現へと高めていくこと ○ 友達と声を合わせて歌うことを通し、表現する喜びを味わうこと
主な学習活動と内容	<p>1 楽曲「きょうりゅうとチャチャチャ」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。【聴く活動①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「きょうりゅうとチャチャチャ」をリズムののって楽しく歌おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ はずむ感じでリズムカルな曲であること <p>2 リズムを感じとりながら正しく歌う。</p> <p>(1) 縦書き歌詞を使い、伴奏に合わせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞を正しく覚えること ○ 音程を正しくとること <p>(2) 歌いにくいところ、リズムが取りにくいところを部分的に取り出して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休符に気をつけて歌うこと <p>(3) リズムののって楽しく歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌に合わせて手拍子を打つこと <p>3 本時学習のまとめとして「きょうりゅうとチャチャチャ」を歌い、次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) 本時学習のまとめとして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リズムに乗って手拍子を打ちながら歌うこと <p>(2) 教師の範奏を聴き、次時学習への思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手拍子の部分に違うリズムが入っていることに気づき次時の見通しをもつこと <p style="text-align: right;">【聴く活動②】</p> 	<p>1 前時学習を振り返りながら、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>チャチャチャのリズムののって もっと楽しく歌おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと楽しく歌えるようにリズムを工夫すること <p>2 もっと楽しくなる表現の工夫をする。</p> <p>(1) 曲に合うリズムを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽譜の中からリズムを見つけること <p>(2) 見つけたリズムを入れて歌う。 【聴く活動③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌に合わせてせリズムがうてること ○ リズムを入れながら、楽しく歌うこと <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時表現への思いをもつ。</p> <p>(1) 自分の選んだリズムののって歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の好きなリズムを選ぶこと <p>(2) 自分の表現について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと楽しく歌うことができたこと <p>(3) 次時学習は自分の好きなリズムを生かしてさらに工夫することを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の所にリズムうちを入れたり、楽器を使うと もっと楽しくなると気づくこと 	<p>1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>チャチャチャのリズムの音色を工夫して楽しく歌おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器を使ったり、リズムを入れる場所を工夫したりすること <p>2 グループに分かれ工夫を考える。</p> <p>(1) 教師の範唱を聴き、自分たちができる工夫について聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器やリズムを入れる場所を工夫することでさらに楽しくなること <p>(2) グループに分かれ、工夫を考え練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと楽しく歌える工夫をすること <p>3 「きょうりゅうとチャチャチャ」を歌い、本題材の学習をまとめる。</p> <p>(1) 各グループの発表を聴く。 【聴く活動④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チャチャチャのリズムののって楽しく歌えていること ○ 友達のグループの発表の楽しさを見つけながら聴くこと <p>(2) 本題材の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しくリズムののって歌えるようになったこと

5 本時 つかむ段階（1／3） （5校時 第3学年〇組 本時案）

6 本時学習の目標

ぼくがきょうりゅうと出会えた喜びを明るく軽快に表現している曲であることを感じ取り、リズムに乗って楽しく歌うことができる。

- 7 準備 教師：範唱 CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、パネルシアター
 児童：音楽ノート、筆記用具

8 本時学習指導の考え方

本時学習は、「きょうりゅうとチャチャチャ」に出会い、曲想を感じ取り表現への思いをもたせることが主なねらいである。

そこで、本時学習指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、ぼくがきょうりゅうと出会えた喜びを明るく軽快に表現している曲であるととらえることができるようにペープサートを見せながら、範唱CDの聴き取りをさせる。【聴く活動①】

【聴く活動①】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子			
曲の様子を感じながら、曲想を感じ取らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」ときょうりゅうがリズムにのって楽しくおどっている様子を想像させるために、ペープサートを見せながらオーケストラ版のCDを聴かせる。 ・歌詞に着目できるように縦書き歌詞を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">二</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> いラララいぬ君、な つラララつんとん しラララしてて よラよ会 にラララにすえす ラララてるす 歌ラララおきなき おラどろん う </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> 二 世君ぼゆ 界はくれ 一はる のぼ きく君赤 よのい う大 り好おの ゆきくリ うなる ！うン </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 一 きょうりゅうと 長ゆそあ いらこる まりは田 つけ風静ぼ のこくが きふみ よりす目 うむうざ りけみめ げぼ う！ </td> </tr> </table> </div>	いラララいぬ君、な つラララつんとん しラララしてて よラよ会 にラララにすえす ラララてるす 歌ラララおきなき おラどろん う	二 世君ぼゆ 界はくれ 一はる のぼ きく君赤 よのい う大 り好おの ゆきくリ うなる ！うン	一 きょうりゅうと 長ゆそあ いらこる まりは田 つけ風静ぼ のこくが きふみ よりす目 うむうざ りけみめ げぼ う！	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい曲だな。 ・楽しい曲だな。 ・はずむ感じがするな。 ・踊りたくなるような曲だな。 ・「ぼく」がきょうりゅうに出会えたからうれしいんだな。楽しいんだな。
いラララいぬ君、な つラララつんとん しラララしてて よラよ会 にラララにすえす ラララてるす 歌ラララおきなき おラどろん う	二 世君ぼゆ 界はくれ 一はる のぼ きく君赤 よのい う大 り好おの ゆきくリ うなる ！うン	一 きょうりゅうと 長ゆそあ いらこる まりは田 つけ風静ぼ のこくが きふみ よりす目 うむうざ りけみめ げぼ う！			

- 次に、楽しい曲想を表現するためにまずは歌詞・旋律を正しく覚えるように、繰り返し歌わせる。その際、拡大歌詞の覚えた部分を裏返していき、覚えて歌えるときょうりゅうが楽しく踊っている絵が表れるようにする。

- さらに、正しく歌えるようにするために子どもに不安定な部分がないか尋ね、その部分を取り出して自動伴奏用電子オルガンで音を確認めたり、教師と一緒に歌ったりしながら歌わせる。その際、表拍と裏拍のどちらを感じながら歌ったほうが軽快な感じがするかを、教師の範唱により聴き比べをさせるとともに試し歌いをさせる。

- さらに、どの児童も正しいリズムで手拍子を打つことができるように、取り出して繰り返し歌う。

- 最後に、本時学習のまとめとして歌う中で、歌に合わせて手拍子を打つことで、より楽しい感じをすることを実感させる。また、教師が手拍子の部分に違うリズムを入れて範奏することにより、次時学習への見通しをもたせる。

【聴く活動②】

【聴く活動②】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
手拍子の部分に違うリズムを入れて歌っても楽しいということに気づき、次時学習への見通しをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への見通しを持たせるために、手拍子の部分にちがうリズムを入れ範奏する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書とちがうリズムが入っていたな。 ・ちがうリズムで手拍子を打っても楽しそうだな。

5 本時 深める段階（2 / 3）

6 本時の目標

チャチャチャのリズムを工夫して、リズムにのって歌うことができる。

7 準備 教師：範唱 CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、リズム符
 児童：音楽ノート、筆記用具

8 本時指導の考え方

本時は、前時学習で感じ取った曲想をもとに、さらに楽曲にあったリズムを見つけだし、自分の思いに沿ったリズムを取り入れて歌うことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、前時学習をふり返りながら歌い、リズムにのって歌うと楽しい感じが表れることを確かめる。そのとき、教師が新しいリズムを手拍子で入れる。このことを通して、本時学習では、さらにリズムを工夫してもっと楽しく歌おうというめあてについて話し合わせるようにする。
- 次に、楽譜の中から楽曲にあうリズムを見つけ、本当に楽曲に合うかどうか実際に歌いながら、リズムを取り入れ確かめていくようにする。

【聴く活動③】

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
<p>もっと楽しくなるように楽曲に合うリズムを見つけ、歌に合わせる。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大楽譜の中から、教師が新しいリズムを手拍子で入れて見せる。 ・ リズム譜に表し、リズムを捉えやすくする。 ・ どの児童も確実にリズムにのることができるように、「リズムの練習→メロディーに合わせたリズムうち→歌いながら」というように段階を追って取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別のリズムも曲に合うね。リズムを変えてみると楽しいね。 ・ 新しいリズムも入れて歌えるようになったよ。楽しいな。 ・ このリズムでもやってみたいな。  
<p>いろいろな工夫を自分でやってみることで、自分の思いに合った表現方法を見つけていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と一緒に楽譜の中から楽曲に合うリズムを見つけていき、楽曲に合うかどうかを実際に歌い、合わせることで確かめていく。 ・ それぞれの表現のよさをひとり一人が実感し、自分の表現方法を決定していけるように、歌、リズムグループに分かれ交代しながら歌う。 ・ 自分の表現方法を決定していけるよう繰り返し歌う場を持つようにする。 ・ お互いの様子を見合うことができるよう円になって歌うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ このリズムも歌に合わせて入れてみたらなかなかいいね。 ・ ぼくは、このリズムにのって歌いたいな。 ・ ○○くんは、リズムにのって楽しく歌えているね。

○ さらに、今日の学習のまとめとして、自分が選んだリズムを取り入れて全員で歌う場を設け、今日のめあてをふり返る。

○ 最後に、全員で歌う際に教師が楽器（ギロ）を使って後半部分にリズムを入れる。この活動により、さらに工夫し表現を深めていこうという次時学習の見通しを持たせるようにする。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 前時学習をふり返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 全員で歌い、前時学習を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しいリズムの手拍子を入れてみて、他にも合うリズムがあることに気づく。 <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>チャチャチャのリズムを使ってもっと楽しく歌おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標を明確にもつこと。 <p>2 もっと楽しくなる表現の工夫をする。</p> <p>(1) 曲に合うリズムを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなリズムが使われていることに気づくこと ○ 歌に合わせて手拍子を入れること <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>(2) 見つけたリズムを入れて歌う。 【聴く活動③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌に合わせて正しくリズムが打てること。 ○ 手拍子を入れながら楽しく歌うこと <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) 自分が選んだリズムを使って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 練習したことをもとに自分の好きなリズムを選び、そのリズムを使って歌うこと。 <p>(2) 自分の表現についてふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の選んだリズムを使って楽しく歌うこと <p>(3) 次時学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が入れたリズム、楽器の音を聞きながら歌う。 ○ 次時学習は、自分の好きなリズムを生かしてさらに工夫することを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムによって正しく歌うことができるよう教師も一緒に歌い、うまくリズムにのることができない児童がいた場合は、横に行き一緒にリズムを取るようになる。 ・教師による手拍子を入れ、前時との違いに気づかせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを見つけやすいようにタタタ…で歌ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の中から、児童と一緒にリズムを取り上げ、リズム譜に直して提示していく。 ・リズムが正しく打てるように教師の後に続けてリズムうちの練習をする。 ・拍にあった正しいリズムが打てるよう4拍子の手拍子を入れながら練習する。 ・リズムが打てるようになったら、範唱CDに合わせて歌と一緒に手拍子を入れるように段階を追って練習し、どの子も確実にできるようにする。 ・歌グループ、リズムグループに分かれて聴き比べる。 <p>※ 曲に合ったリズムをみつけ、リズムを使って歌うことができている。(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを選ぶことができない児童には、もう一度いろいろなリズムを一緒に試して歌ってみるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人が自分の好きなリズムを選び出し、のびのびと表現できるよう教師も一緒に歌う。 ・自分達の表現の高まりを実感できるよう、同じリズムの児童同士で集まり、全員で歌う。 ・全員で歌う際、後半部分に曲想にあう楽器(ギロ)でリズムをつけ加え、さらに工夫できそうだとすることに気づかせる。